フルスピード

2159 東証マザーズ

Company Research and Analysis Report
FISCO Ltd.
http://www.fisco.co.jp

2013年12月20日（金）

Important disclosures and disclaimers appear at the back of this document.

企業調査レポート
株式会社フィスコ

■アドネットワーク事業が高成長の牽引役へ

フルスピード<2159>は、リスティング広告・検索エンジン最適化サービス（SEO）等のインターネット広告代理店事業、自社開発で展開するアフィリエイト・サービス・プロバイダー（ASP）事業やディスプレイ型アドネットワーク（DSP）広告等のアドネットワーク事業が収益の2本柱。自社開発サービスを強化することで、同業他社と比べて高い利益率である点が特徴となっている。

12月11日付で発表された2014年4月期の第2四半期（5-10月期）の連結業績は売上高が前年同期比5.6%増の5,649百万円、営業利益が同38.5%増の319百万円、経常利益が同39.4%増の303百万円、四半期純利益が151百万円（前年同期は554百万円の損失）の黒字転換となった。従来計画は売上高が5,400百万円、営業利益が195百万円等となっており、売上高、各利益項目ともに計画を上回る着地となっている。

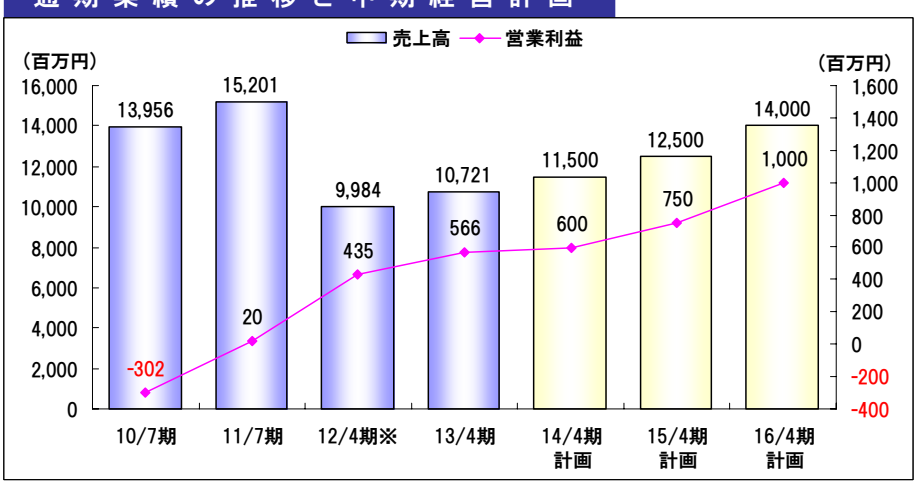
足元において業績の牽引役となっているのが、アドネットワーク事業である。国内インターネット市場の拡大、とりわけスマートフォンの普及拡大によって、アフィリエイト広告市場が大きく伸長する中で、上期はアドネットワーク事業において子会社フォーイットが運営する「アフィリエイトB」が好調に推移し売上高、セグメント利益ともに過去最高を更新した。アドネットワーク事業の売上総利益は46.0%（前年同期は42.3%）まで高まっているほか、利益率も高いため、今後も同事業が高成長の牽引役となることが期待される。

なお、会社側では通期の業績予想（売上高は前期比7.3%増の11,500百万円、営業利益は同6.0%増の600百万円）を据え置いた。同社は2016年3月期を最終年度とする新中期計画において「アドテクノロジー企業」への転換を目標に掲げており、成長加速フェーズとなる2015年4月期は、売上高が12,500百万円、営業利益が750百万円。収益化フェーズとなる最終年度の2016年4月期は、売上高が14,000百万円、営業利益が1,000百万円を計画している。

■Check Point

- 収益性が高く成長領域のアドネットワーク事業が大きく伸長
- 下期もアドネットワーク事業は前期を上回る見通し
- 新中期経営計画の1年目となる今期は順調なスタート

通 期 業 績 の 推 移 と 中 期 経 営 計 画



※12/4期から決算月変更

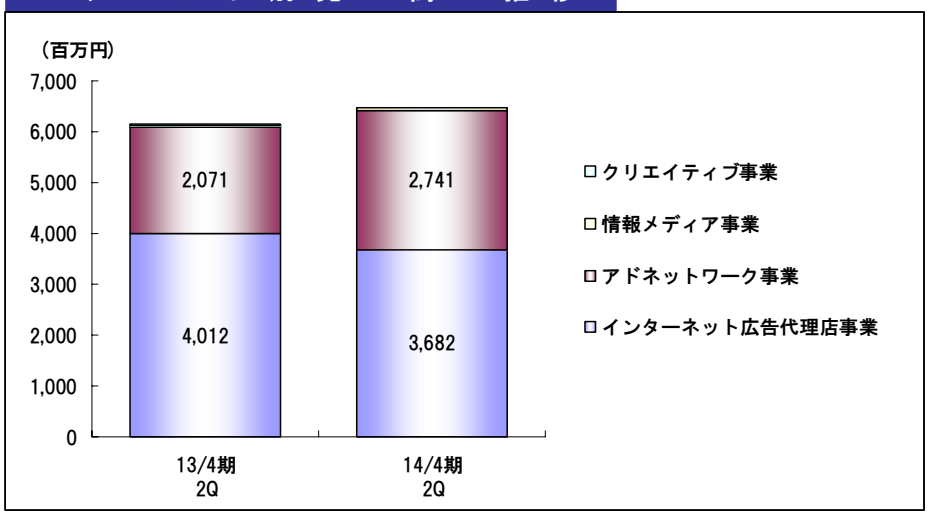
収益性が高く成長領域のアドネットワーク事業が大きく伸長

アドネットワーク事業では、アフィリエイト・サービス・プロバイダー（ASP）事業、ディスプレイ型アドネットワーク（DSP）広告等を展開している。ASPやDSP等は自社開発商材となるため、広告代理業に比べて粗利率が高い点が特徴となっている。

2014年4月期の第2四半期（5-10月期）の売上高は前年同期比32.4%増の2,741百万円、セグメント利益は同29.0%増の333百万円となり、売上、利益ともに過去最高を更新した。足元では、アフィリエイト広告市場の拡大が続いているほか、自社開発したアフィリエイトプログラム「アフィリエイトB」が好調に推移したことが業績を牽引とする要因となった。また、注力商材として自社開発した「AdMatrix DSP」や、クライアントの広告予算配分の最適化を支援する広告効果測定ツール「AdMatrix 3PAS」についても第1四半期のサービス開始以降も順調にクライアントを獲得し、伸長している。

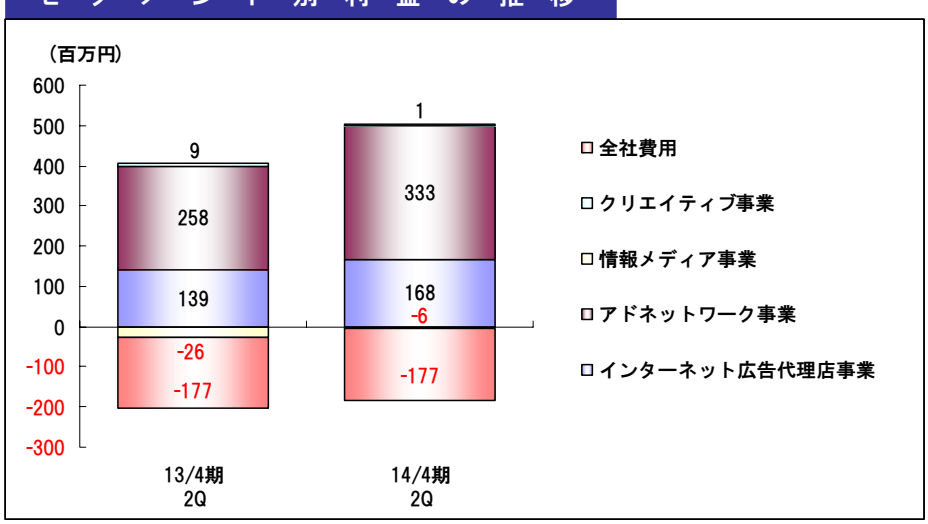
アドネットワーク事業の売上総利益については、第2四半期時点で46.0%となり、前年同期の42.3%から一段と上昇している。会社側では、収益性が高く成長領域でもあるアドネットワーク事業の比率を高めていく方針で、今後も同事業が高成長の牽引役となることが期待される。

セグメント別売上高の推移



※内部取引消去前ベース

セグメント別利益の推移



FISCO

下期もアドネットワーク事業は前期を上回る見通し

インターネット広告代理店事業では、リスティング広告やSEM広告ソリューション、アフィリエイト広告等の各種サービスを提供する。2014年4月期の第2四半期（5-10月期）の売上高は、前年同期比8.1%減の3,686百万円となった。SEM広告ソリューション等の売上高が若干減少しているが、これは環境変化に先行対応するため、コンテンツマネジメントにより重点を置いたクライアント提案にシフトしていること等が背景となっている。

なお、会社側では下期についても、インターネット広告代理店事業は事業リソースのシフトやSEMの戦略シフトの影響により、前期を下回ると見込んでいる。ただし、上期に計画の上振れる要因となったアドネットワーク事業は引き続き、前期を上回ることを見込んでいることから、インターネット広告代理店事業の伸び悩みを十分にカバーすることが可能であろう。

2014年4月期下期の取り組み

	アドネットワーク事業		インターネット広告代理店事業
	ASP事業※子会社フォーイット	ディスプレイ広告	
①販売	既存顧客以外の業種の拡大	3Q後半～キャンペーン展開	リスティング、純広告等代理媒体と自社DSPのパッケージ販売
②サービス・開発	サービス強化のため各サイトリニューアル・アフィリエイトB(下期)・ハッピーリターン⇒スマイルモール(12/9済)	3Q中旬～新サービス開始（AdMatrix Socialなど） AdMatrix DSP等機能開発強化	SEMソリューションの戦略シフト推進継続
③組織・教育	教育体制の拡充	増加するDSP関連アカウントに対応する運用体制ならびに教育体制の拡充	

新中期経営計画の1年目となる今期は順調なスタート

同社は2013年7月に3ヶ年の中期経営計画を発表している。計画の骨子として、2014年4月期までを「投資による事業創造フェーズ」、2015年4月期を「成長フェーズ」、2016年4月期を「収益化フェーズ」として位置付けた。成長フェーズからは海外事業やM&Aも含めて業績を拡大させていく計画である。具体的な業績目標値としては、最終年度となる2016年4月期に連結売上高14,000百万円、営業利益1,000百万円の達成を掲げている。

それに向けて、より利益率の高いネット広告代理店となるため、「アドテクノロジー企業」への転換を図る方針である。今期は新しい中期経営計画の1年目となるが、注力するアドネットワーク事業が大きく伸長しており、順調なスタートを切ったと言えるだろう。また、下期に向けては、ソーシャル・メディア・マーケティングの独自の分析ツールを投入するほか、東南アジアの事業展開の準備を進めていく。

2014年4月期の業績見通しについては、事業リソースのシフト、SEM広告ソリューションの戦略シフト等の影響を見極めるため、従来予想を据え置いた。売上高は前期比7.3%増の11,500百万円、営業利益は同6.0%増の600百万円、経常利益は同4.9%増の568百万円、当期純利益は468百万円（前期は254百万円の損失）を見込む。

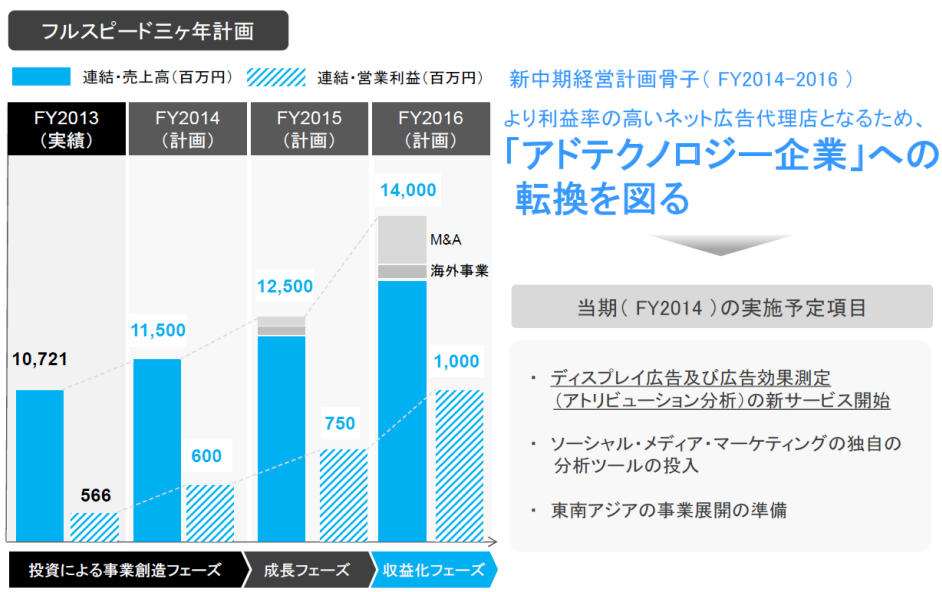
なお、海外展開については2012年8月に中国・上海に子会社を設立し、検索エンジン最適化（SEO）を中心とした広告代理店事業を開始した。中国日系企業、中国法人向け企業に対して、ニーズの高い中国大手検索サイトの百度（Baidu）向けセミナーを積極的に展開している。

2014年4月期の業績見通し

（単位：百万円）

	13/4期	14/4期	
	実績	予想	前期比
売上高	10,721	11,500	7.3%
営業利益	566	600	6.0%
経常利益	541	568	4.9%
当期純利益	-254	468	-

新中期経営計画の骨子と数値目標



出所：会社資料より引用

ディスクレーマー（免責条項）

株式会社フィスコ(以下「フィスコ」という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪証券取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。“ＪＡＳＤＡＱ ＩＮＤＥＸ”の指数値及び商標は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり一切の権利は同社に帰属します。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したものですが、その内容及び情報の正確性、完全性、適時性や、本レポートに記載された企業の発行する有価証券の価値を保証または承認するものではありません。本レポートは目的のいかんを問わず、投資者の判断と責任において使用されるようお願い致します。本レポートを使用した結果について、フィスコはいかなる責任を負うものではありません。また、本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業との電話取材等を通じて当該企業より情報提供を受けていますが、本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はフィスコの分析によるものです。本レポートに記載された内容は、資料作成時点におけるものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、事前にフィスコへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正･加工することは堅く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは堅く禁じられています。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願いします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

株式会社フィスコ